

## 交通事故をまとめよう

## 小学校の交通事故

いつ	原因 <small>げんいん</small>
登下校	とび出し(急いでいて)
ならいごとの行き帰り	信号むし(自転車にのっていて)
じゅくの行き帰り	とび出し(急いでいて)
遊び	とび出し(ボールを追いかけていて)
登下校	とび出し(ふざけていて)
買い物	車の前後横だん(急いでいて)
じゅくの行き帰り	横だん歩道外の横だん(近道をしようとして)
遊び	とび出し(かくれんぼをしていて)
ならいごとの行き帰り	とび出し(急いでいて)
遊び	とび出し(ふざけていて)
登下校	とび出し(校門から急に出て)
ならいごとの行き帰り	信号むし(急いでいて)
買い物	とび出し(急いでいて)
じゅくの行き帰り	とび出し(自転車にのっていて)
遊び	とび出し(友だちと走っていて)
ならいごとの行き帰り	車の前後横だん(急いでいて)
遊び	信号むし(むりにわたろうとして)
遊び	信号むし(ふざけていて)
買い物	横だん歩道外の横だん(近道をしようとして)
登下校	信号むし(急いでいて)
ならいごとの行き帰り	とび出し(自転車にのっていて)
遊び	とび出し(車の前後横だん)
登下校	横だん歩道外の横だん(急いでいて)
登下校	車の前後横だん(急いでいて)

月 日 ( )

4年 組 番

氏名

- ◆ どんなときに事故がたくさん起きているか、表にまとめてみよう。

どんなとき？	正の字を書いて調べよう	人数
登下校		
ならいごとの行き帰り		
じゅくの行き帰り		
遊び		
買い物		

- ◆ どんな原因が多いか、表にまとめてみましょう。

原因	正の字を書いて調べよう	人数
とび出し		
信号むし		
車の前後横だん		
横だん歩道外の横だん		

## 交通事故をまとめよう

## 小学校の交通事故

いつ	原因
登下校	とび出し(急いでいて)
ならいごとの行き帰り	信号むし(自転車にのっていて)
じゅくの行き帰り	とび出し(急いでいて)
遊び	とび出し(ボールを追いかけていて)
登下校	とび出し(ふざけていて)
買い物	車の前後横だん(急いでいて)
じゅくの行き帰り	横だん歩道外の横だん(近道をしようとして)
遊び	とび出し(かくれんぼをしていて)
ならいごとの行き帰り	とび出し(急いでいて)
遊び	とび出し(ふざけていて)
登下校	とび出し(校門から急に出て)
ならいごとの行き帰り	信号むし(急いでいて)
買い物	とび出し(急いでいて)
じゅくの行き帰り	とび出し(自転車にのっていて)
遊び	とび出し(友だちと走っていて)
ならいごとの行き帰り	車の前後横だん(急いでいて)
遊び	信号むし(むりにわたろうとして)
遊び	信号むし(ふざけていて)
買い物	横だん歩道外の横だん(近道をしようとして)
登下校	信号むし(急いでいて)
ならいごとの行き帰り	とび出し(自転車にのっていて)
遊び	とび出し(車の前後横だん)
登下校	横だん歩道外の横だん(急いでいて)
登下校	車の前後横だん(急いでいて)

月 日 ( )

4年 組 番

氏名

- ◆ どんなときに事故がたくさん起きているか、表にまとめてみよう。

どんなとき？	正の字を書いて調べよう	人数
登下校	正 一	6
ならいごとの行き帰り	正	5
塾の行き帰り	下	3
遊び	正 丁	7
買い物	下	3

- ◆ どんな原因が多いか、表にまとめてみましょう。

原因	正の字を書いて調べよう	人数
とび出し	正 正 下	13
信号むし	正	5
車の前後横だん	下	3
横だん歩道外の横だん	下	3

## 交通事故をまとめよう

### 1. この単元のシート構成

- 単元名 資料の整理
- シート名 交通事故をまとめよう  
いつ どうして  
友だちにインタビューしよう

※「交通事故をまとめよう」「いつ どうして」はセットで御利用下さい。

### 2. ねらい

- 目的に応じて資料を集め、分類整理したり、特徴を調べたりすることができるようにする。その際 二つの事柄に関して起こる場合について調べることができる。

### 3. 活動のポイント

- シート「交通事故をまとめよう」では、小学生の事故について調べた表を「どんなときに起きたか」という視点で整理したり、「どんな原因か」で整理したりすることができる。
- シート「いつ どうして」は、シート「交通事故をまとめよう」をもとに、「どんなときに」と「原因」の2つの観点で表を整理しなおすとどんなことがわかるようになるかを考える。

### 4. 留意点

- まずはひとつの観点で表を整理することで、資料を新しい観点で整理しなおすことでわかるようになることがあることを知らせる。その際、落ちや重なりがないように気をつけて整理する。

- 資料は2つの観点から整理すると、ひとつの観点だけのときと異なる発見があることを体験させたい。その際、ひとつの観点から整理した表の数字がどの位置にあるかを意識して整理していくと表のつながりが見えてくるようになる。